

第2節 水質の現状把握

1. 草津川の水質の現状

1.1 草津川の水質の現状

【環境基準の類型指定(草津市)】

草津市における環境基準

| 類型 | BOD(mg/l) 生物化学的 酸素要求量 | T-N(mg/l) 総窒素 | T-P(mg/l) 総リン | 感覚 一般的表現 |
|----|-----------------------------|------------------|------------------|-------------|
| AA | 1以下 | 0.2以下 | 0.02以下 | きれい |
| A | 2以下 | 0.5以下 | 0.05以下 | やや きれい |
| B | 3以下 | 1.0以下 | 0.1以下 | きれい |
| C | 5以下 | 3.0以下 | 0.3以下 | やや汚れている |
| D | 8以下 | 4.0以下 | 0.4以下 | 汚れて いる |
| E | 10以下 | 5.0以下 | 0.5以下 | いる |
| 類外 | 10を超える | 5.0を超える | 0.5を超える | たいへん汚れている |

1. 草津川の水質の現状

1.1 草津川の水質の現状

【BOD(生活健康項目)】

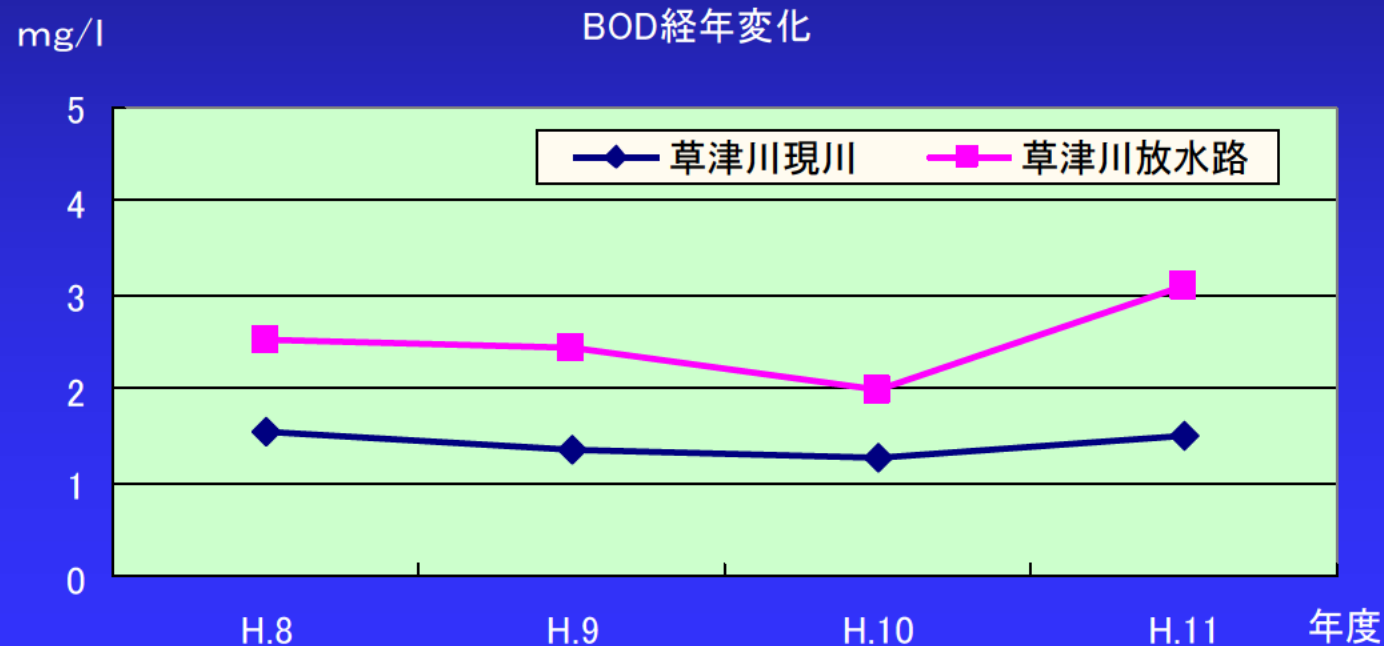
BODとは・・・

水中の比較的分解されやすい有機物が微生物によって分解される時に消費される酸素の量をいいます。
BODが10mg/lで悪臭が発生します。

(悪化)



(良好)



草津川放水路の濃度が高いのは、伯母川及び北川の影響と考えられます。

1. 草津川の水質の現状

1.1 草津川の水質の現状

【T-N(生活健康項目)】

T-Nとは・・・

有機態と無機態の窒素を合わせたものをT-Nといいます。富栄養化の指標としてよく使われ、富栄養湖と貧栄養湖の境界は、0.15～0.2mg/l程度とされています。

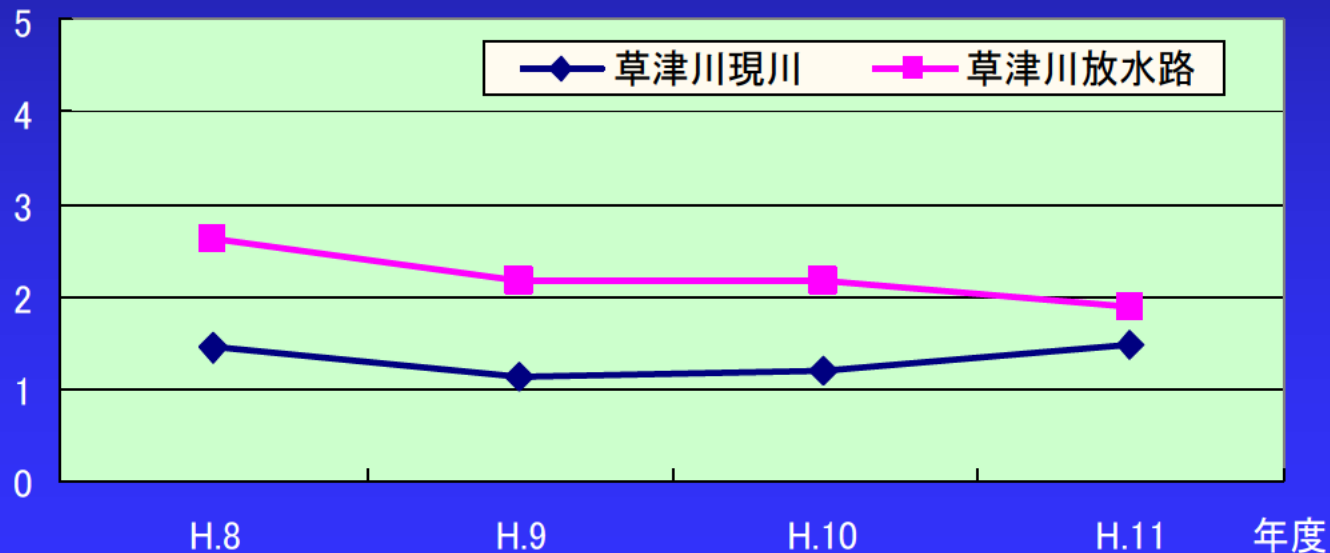
T-N経年変化

(悪化)

mg/l



(良好)



草津川放水路の濃度が高いのは、伯母川及び北川の影響と考えられます。

1. 草津川の水質の現状

1.1 草津川の水質の現状

【T-P(生活健康項目)】

T-Pとは・・・

水中の全てのリン化合物を、強酸あるいは酸化剤で分解してオ尔特リン酸態リンとして定量したものです。湖沼の富栄養化の目安としては、0.02mg/l程度とされています。

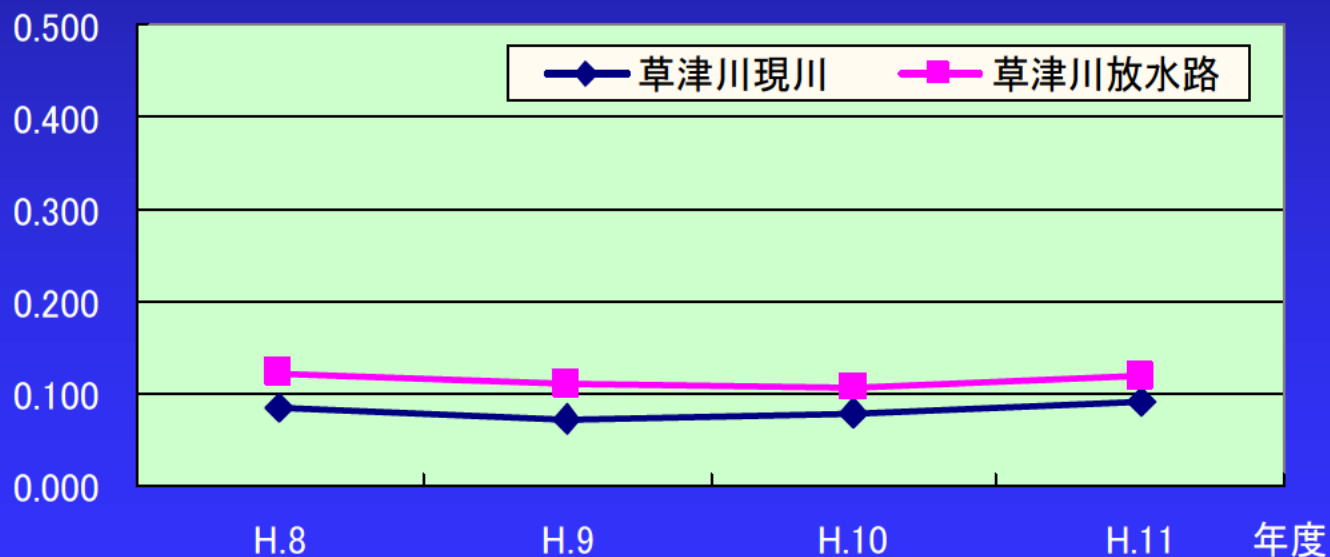
(悪化)



(良好)

mg/l

T-P経年変化



草津川放水路の濃度が高いのは、伯母川及び北川の影響と考えられます。

2. 浄化施設の整備状況

2.1 土壌浄化施設

【草津川放水路浄化事業】

中間水路では、アオコが発生するなど、水質の悪化が懸念されています。これより、草津川放水路北川合流部において、プランクトンの増殖要因の一つとされるリンを除去する土壌浄化施設が整備されています。(平成12年度完成)

